



3年生が石垣中と交流学習

今年度からの新たな試みとして、19日～21日の3日間に渡り、3年生(5名)による石垣中学校と交流学習を実施しました。これは、15の春の島立ちを見据え、大規模校での学校生活を経験させ、コミュニケーション能力の育成を図ることと同世代の大集団の生徒との関わりを通して、多様な考えがあることに気づき、今後の生活に活かせる実践力を身につけることをねらいに実施しました。男子の空也さん、海渡行さんが1組、女子の史帆里さん、朋花さん、美羽さんが5組に入り石垣中の生徒と一緒に授業を受けました。18日に石垣に前日入りした際に1組と5組のクラスの生徒たちが、石垣港まで出迎えてくれて、みんなビックリすると同時に、感激した様子でした。学校でもそれぞれのクラスで、石垣中の生徒と楽しく授業に臨んでいました。学年で歓迎のセレモニーをしたり、学級で交流会を持つなど、石垣中もいろいろと考えた受入をしてくださり、とてもうれしく思いました。校長先生が本校の3年生が上小3年の時の校長、宮良信浩校長先生ということも、3年生たちにとっては安心できることになっていたと思います。とても中身が濃厚で充実した3日間を過ごせたと思います。是非、この貴重な経験をこれからの学校生活や今後の進路につなげ、生かして欲しいと思います。



沃野



竹富町立
船浦中学校
学校便り
第11号

発行責任者
校長
仲田欣五





平和学習で忘勿石の碑へ

18日(火)の午前中に今年度の平和学習として、西表東部南風見田にある「忘勿石の碑」に全生徒で行ってきました。内原勲先生を講師にお招きし、「戦争マラリア～忘勿石の悲劇」という講話を忘勿石の碑の前で拝聴しました。小学校の時にも来たことがある生徒もいましたが、改めて戦争マラリアについて内原先生からお話を聴き、戦争の悲惨さや今の平和を維持するためにどうしたらいいかなど、考える良い機会となりました。「命(ぬち)どう宝」の精神をしっかりと胸に刻み、平和について考え行動できる人になってほしいと思います。たいへん貴重なお話をしてくださった内原先生、本当にありがとうございました。

